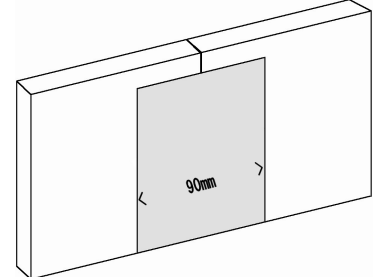


## STEP 1

### テープ接着面・パテ平滑仕上

ケース1 **PB 突付け (平ボード) 工法**  
 NONCRA® JOINT工法 併用



利点：V目地充填厚付けパテ塗不要  
 但し、不陸が大きければ、厚付パテ塗の上上パテ塗

#### NONCRA®C仕上用パテ塗

しごき仕上 4号ヘラ使用 乾燥：2時間

●ノンペーパー

標準使用量：1,500m/12Kg缶：10L

ケース2 **PB 簡易目地処理 (Vカット) 工法**



1回目 石こう露出部・珪カル・セメント板  
 二液変性エポキシシーラー塗布の上  
 穴埋め充填・下地不陸調整

#### NONCRA®C特性厚付用パテ塗

清水100cc程度/Kg缶 加水ok

マザールで良く攪拌 乾燥：2時間以上

標準使用量：600m/9Kg缶：12L

2回目 パテヤセ・下地不陸調整

テープ接着面下地ごしらえ

#### NONCRA®C仕上用パテ塗

しごき仕上 4号ヘラ使用 乾燥：2時間

●ノンペーパー

標準使用量：1,500m/12Kg缶：10L

注意：・Vカット手加工部は変性エポキシシーラー目地刷毛塗

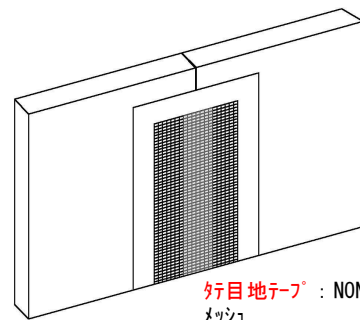
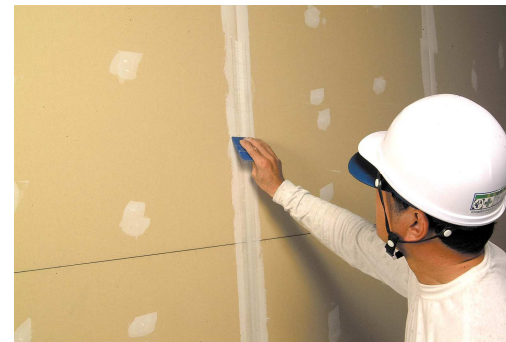
・パテヤセを無くし平滑面仕上げ

・ボード目地のビス留付間隔チェック

壁：200mm以内 天井：150mm以内

## STEP 2

### NONCRA® C&E テープ貼着



好目地テープ：NONCRA. C  
 メッシュ

1回目 **NONCRA®テーププライマー塗布の上**

手貼で継目中心に命中仮貼

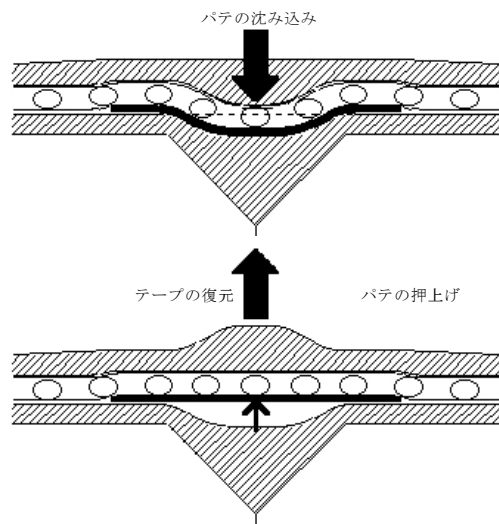
- テープをたるませるとパテが割れます。
- 接着面の粗面、粉吹、湿気は貼着禁止

2回目 **テープ本貼～離けい紙剥し**

専用刀仏用ヘラでしごき圧着

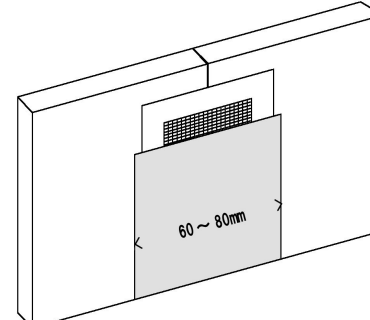
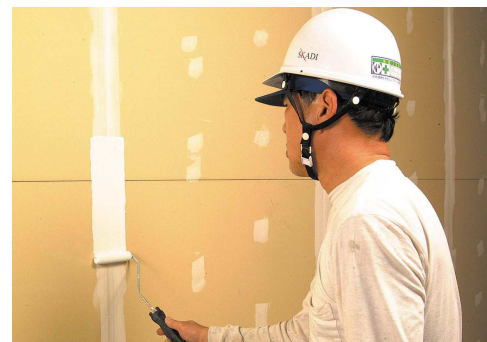
- 金ヘラ押えはテープが密着しません。
- テープの接着不良はテープのミミにひび割れ、浮き、剥離がでます。
- テープのシワはしごき取ってください。

⚠警告 パテヤセのままテープを貼った場合  
 筋状のフクレが出る!!



## STEP 3

### NONCRA® C&E テープ接着



弾性下地処理材ローラー塗

ウレタン短毛ローラー2～3インチ使用

目的：吸込止め全面塗削減、テープの付着力  
 強化と隠ぺい、ミミ割れ・ひび割れ防止

#### NONCRA®エポコート

または  
 NONCRA®弾性コート塗

無希釈 乾燥：2時間以上

- ローラーの両耳は霧吹き仕上げ

#### ひび割れ防止強化部位

ヨコ目地、扉・開口枠廻り、階段室打継

1回目 **NONCRA®弾性エポキシ樹脂塗**

2液反応速硬化、弾性引張伸び率110%

塗幅：テープ上 60～70mm

完全ヘラしごき取り

標準使用量：50m/主剤250g+硬化剤250g

乾燥：1日以上厳守

警告 ●エポキシ樹脂硬化前に塗料・パテを塗るとカメノコ状亀裂が入る!!

#### NONCRA®エポコート

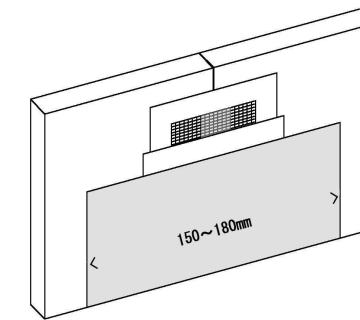
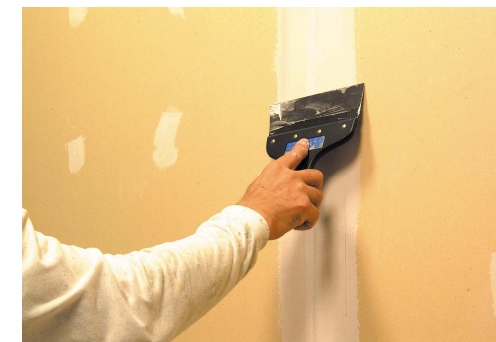
または  
 NONCRA®弾性コート塗

無希釈 乾燥：2時間以上

- ローラーの両耳は霧吹き状仕上げ

## STEP 4

### 仕上パテ塗



#### NONCRA®Cパテ塗

1回目：厚付パテ 1 + 仕上パテ 2 混練使用

2回目：仕上パテのみ

150～180mmヘラ (ステンレススーパーシルバー) 使用

塗幅 150mm～180mm 乾燥時間：2時間以上

標準使用量：600m/12Kg缶：10L

平均塗厚：0.05～0.1mm (20g/m～35g/m)

- ガラスクロスが見え隠れする程度
- 厚付け厳禁 パテ割れの原因

### “NONCRA®C&E目地処理工法”について

本目地処理工法は、従来にないテープの強度と接着方式により、接合部の補強効果を発揮しますが、ひび割れが発生しないことを保証するものではありません。  
**“ひび割れ”が生じた結果について、弊社はその責は一切負いかねますので、あらかじめご了承の上ご使用下さい。**

●注意

1. テープは粘着剤付きですが、接着強化に**NONCRA.テーププライマー**を塗布の上貼着して下さい。
2. 使用するパテは下地との付着強さとヤセを考慮し、専用の**NONCRA.C特性厚付用パテ**、**NONCRA.C仕上用パテ**

を

を使用して下さい。

3. V目地のパテヤセを無くし、平滑仕上げした後にテープを貼着して下さい。  
 パテヤセを残したままテープを貼ると、テープ上のパテが筋状にフクレひび割れが出てしまいます。
4. テープ上は下地とのテープの固着強化、目地処理跡の隠ぺい、パテかきの作業性向上を兼ね  
**NONCRA.エポコート**、**NONCRA.R弾性コート**を塗布して下さい。

5. テープ上のパテの厚付けは、塗られたパテのひび割れの原因となります。

6. 以下の場合、標準工程に追加してください。

- ①塩化ビニール樹脂エナメル仕上の場合、Step5の後で下地全面に変性エポキシシーラーを塗布してから仕上げして下さい。
- ②GL工法や硬質プラスターボード並びに1枚貼の横目地、木造下地、木部・コンクリートとボードの取合

い、

出入口扉廻りなど震動性状が異なる部分には、別途**NONCRA.Eスーパ**を使用してください。